

那覇西ロータリークラブ

国際ローター 2580 地区 創立 1962 年 6 月 4 日

2024年5月15日 週報 第2723号



那覇西ロータリークラブ年間テーマ

「親睦を深め問題意識を共有し、奉仕の心を育む」

四つのテスト

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 真実かどうか | 本日のプログラム |
| 2. みんなに公平か | 5月15日(水) |
| 3. 好意と友情を
深めるか | ・点鐘
・ロータリーソング |
| 4. みんなの為に
なるかどうか | それこそロータリー
・会長報告
・幹事報告 |

例会報告

第2848回(2024年5月9日)

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
53名	37名	14名	72%	60%

欠席会員

上原、大城(博)、宮内、福重、久保、渡慶次、丸橋、平尾、石垣、照屋(紀)、仲程、福本、稲嶺、藪亀会員

メイクアップ会員

石川正一(5/10浦添)

ゲスト

クララ・ハイマン(青少年交換学生)
下田美智代(ホストファミリー)
川畑智寛(新会員候補者)

ニコニコ BOX(2024年5月8日)

合計 ¥3,000 累計 ¥287,000

大城純市 交換留学生のクララさん興南高校での
高校生活をエンジョイしていることでしょう。

松島寛行 那覇西 RC 会長杯ゴルフ 優勝しました。

会長 中村 敦 副会長: 慶佐次 操・三浦 勉
幹事: 比嘉芳直
例会日 毎週水曜日 12時30分
例会場 沖縄ハーバービューホテル
事務局 那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル6階
TEL: 861-7824 FAX: 861-7825



会長報告



理事会がありました。次年度の理事会例会の方法、予算について協議しました。継続審議を行い正式に決まりましたら皆様にご報告申し上げます。台北旭 RC との合同例会が来週行いますが昼の例会ではなく夜間例会とし親睦を図っていきましょう。先月、津波警報が発令されました。丁度、その日は理事会・例会が予定されておりましたが、その際に理事会・例会開催の可否を判断と情報伝達に手間取る場面がありましたので次回からいろいろな事態に対して備えが必要かと感じました。今回の理事会でこのような事を協議した事をご報告申し上げます。会長報告と致します。

幹事報告



会場の昼食代などの値上がりがあり会費の値上げの検討をしましたが現在の会費額で継続となりました。台湾旭 RC との夜間例会が15日、水曜日に開催されます。会費につきましては5,000円/人、ゲストは8,000円/人となります。旭 RC から8名の参加予定となっておりますので那覇西ク

ラブの皆様、ご参加の程、宜しくお願い致します。インターアクト年次大会の報告が比嘉会員からあり予算などあまった分に関しては一般会計への繰り入れることとなりました。最後に会長からもありましたが緊急アラームが発令された場合は理事会・例会も中止となる可能性があります。正式には6月理事会で審議し結果ができましたらご案内いたします。5月4日に会長杯があり3組12名で行いましたが松島会員が優勝となりました。

※来週、15日は夜間例会になりますのでお間違いなくお願いします。

クララさん近況報告



みなさん、こんにちは。7月20日に家族がドイツから沖縄やってきます。とても楽しみです。

クララさんホストファミリー 那覇東RC 下田様



みなさま、こんにちは。現在のクララさんのホストファミリーを引き受けております。本日は地区の青少年委員としてご挨拶させていただきます。いつもホストクラブとして皆様の寛容さに感謝致します。クララさんから報告がありましたが7月20日にクララさんの御両親と11歳の弟が沖縄に来られ1週間ほど滞在しその後、本土の方で3週間滞在する予定になっております。地区の青少年委員としてご両親に引き渡した時点でRC交換学生としての責務は終了するそうです。クララさんのホストとして役目は7月20日で終了となりました。最後までまだ時間はありますが心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

鹿兒島銀 新都心支店長 川端智寛様



この度はご縁がありましてRCにお誘い頂き有難うございます。先ほどRCがどのような組織なのかをご丁寧にご説明頂き理解が深まりました。自分自身が成長できる組織だと感じました。どうぞこれからも宜しくお願い致します。

卓話 「沖縄タイムスの文化事業について」 沖縄タイムス 執行役員 上間正敦様



みなさま、こんにちは。プログラム委員の上間でございます。3月に招待券をお送りさせて頂きましたタイムスの沖展は弊社の文化事業のどのような位置づけなのかをご説明させて頂きます。弊社の新聞社なので事業の柱は新聞紙面の発行でございますが、もう一つの柱は文化事業となります。今年の開催をもちまして75回開催を終えることができました。現在では絵画、版画など12部門から多い時には1,000点にあまりの作品が集まりますがこれまでの沖縄戦と沖縄の文化事業の推進をご紹介致します。1948年7月1日に戦後初の民間新聞社として創刊されますが戦後、間もない沖縄を復興にむけてどのように応援してゆくかを思案した際に文化の力で必要だと思い、創刊の翌年に始まったのが沖展でございました。戦前はうるま新報があったが戦意高揚を促す機関となり、新聞統合の二の舞になりそれではダメだと集まった新聞人が立ち上げたのが沖縄タイムスです。その豊平良顕という創刊メンバーの記者をご紹介します。豊平は大本営発表を終戦の1945年5月25日まで首里城の下にある日本軍第32軍司令部豪にてガリ版で刷った最後の編集長でした。彼は軍の意向のままに戦況がどんなに厳しくても日本軍優位の情報を流しておりました。戦後はその贖罪の念から「もうペンとはらない」と隠居生活をされておりました。しかし戦後、沖縄と内地の格差などを耳にするに沖縄にはどこでも誇れる素晴らしい文化がある事に気づかされる人生だったようです。豊平はペンとはならないと決めていたので新聞記者としてではなく、文化の力で沖縄を元気にしたいという想いから創刊の翌年から「沖展」がスタートしました。豊平がいたおかげで戦後の沖縄の歩むべき道をもったと考えております。私事で恐縮ですが定年を迎えタイムス社を一旦、退社致します。残念ながらRC会員も来月あたりから他の者が参加致します。皆様には紙面を通して文化事業にもご関心をもって頂ければと思います。これまで大変、御世話になりました。